



3.11。私たちも「真にこころの復興」に共感し、 一人一人が大切にされる社会の実現をめざして考え続けます

よつ葉だより No.638 (2/8号) に「おとうふ揚げ」の高橋徳治商店社長、高橋英雄さんからの寄稿「3.11 は忘れない」を4ページにわたって掲載しました。

想像を絶する被災の困難の中から、「こころをないがしろにしてきた社会」を変え、「真にこころの復興」をかたちにするこゝとを再建の目的にするという壮絶な挑戦を、社員の皆さんと成し遂げてこられた高橋さんの、「豊かさや幸せはお金で買えるの?」「生産性って何?」「こころを見つめて」「考えることを止めないで」と繰り返し問い、呼びかける 9000 文字の熱いメッセージに、多くの組合員さんが感想をお寄せくださいました。一部をご紹介します。

「真にこころの復興」は被災地だけの復興ではなく、「一人一人が大切にされる社会」に通じます。10 年経って、「取り残された人々」の存在は、コロナ禍で拡大しています。高橋さんの「考え迷うことは止めない?なぜなら夢にみた世界があるから。」の言葉に励まされ、「忘れたことを忘れるな」を胸に刻み、一人一人が大切にされる社会を夢見て、考え続けたいと思います。

(組合員活動常任理事 堀)

“3.11 は忘れない” を読んで

あの八方ふさがりの災禍の中で、自分のためではなく、他人のために、お金や権力ではなく心を大切に生き方をされて来て、今も実行されている高橋様の生き様に感動して読みながら涙ぐんでしまいました。

私は、コロナ後の未来の世界は、今と反対の、つまり、利己でなく利他の、お金でなく心の、人工でなく自然の、効率や便利さでなくゆったり落ち着いた、誰もが住みやすい、真に平和な世界に進化していくと願っていますし、信じています。そのために、少しでも自分にできることをして行こうと思っています。

読んでいて、宮沢賢治の詩“雨ニモマケズ”を思い出しました。まさに高橋様のような人がどんどん出てくれば、きっと美しい世界が実現すると思います。希望が持てました。高橋様、よつ葉生協の方々、ありがとうございました。

(益子地区 M・U さん)

高橋英雄さんの＜3.11 は忘れない＞を繰り返し読みました。私には頭でも身体でも想像すら出来ない厳しく重い 10 年の歳月、よくぞ人生を捨てずにここまで来られたことと、心からの拍手を送りたい気持ちです。苦難の中で、スタッフや若者たちと、一步一步素晴らしい形を創ってこられた高橋さんの歩みは、多くの人々の人生と重なり合って重厚なハーモニーを響かせておられるようです。灯っこが更に広がっていきますように祈ってます。

(那須地区 坂本さん)

美味しいおとうふ揚げに異なる味が加わってまた楽しみになりました。あと一品何か、というときに助かる必需品です。ふわっとした食感とともに家族にも好評です。

(佐野地区 Y・N さん)



よつ葉だより「3.11 は忘れない」高橋英雄さんの提言の一つ一つを心に深く刻むべく、繰り返し読ませていただきました。「少し立ち止まって…考えてみませんか」自ら考えることは、エネルギーも時間も必要です。時には不安も生じるかもしれません。でも、自らの命や生活を守るためには、考えて、時には勇気をもって声を上げるべきだと痛感しました。若い方達の中には、声を上げて自ら行動する方も増えてきているように思います。高齢者の仲間入りをした私は、これからの人達が生きやすいように、自然環境とともに社会環境も変えていくよう微力ながらも行動していきたいと思います。また原発についても改めて再稼働の中止を求めるとともに、代替エネルギーをどうするのかについても考えていきたいと思います。

(那須地区 S・Y さん)

よつ葉だより 2 月 8 日号を読みました。

忘れられない出来事なのに、違うところに住む私は、放射線のことには頭がいく位で、そこに居た人達の想いまで考えられていなかったと申し訳ない気持ちになりました。

震災当時 TV で流されていた場面で、小学生くらいの男の子が叔母と母を探しに行き、車の中で母を見つけると、叔母は泣きますが、息子さんは涙を出すこともなく話しかけていて、逆にそれがとても悲しかったことを思い出しました。

今の私に出来ることは支援金としてお金を出すことしかできませんが、その子が大きくなって、その子の支えになったり、その他同じ境遇の子どもたちに、少しばかり力をかすことにつながったら大変嬉しく思います。

(小山地区 Y・I さん)

高橋社長の文章、引き込まれました。私も震災後の石巻を訪れ、様々な思いを抱えていました。10 年の月日が経ちましたが、『小さな灯り』が、みなさまの心に灯されることを、お祈りしています。

社長さん、従業員みなさん、ありがとうございます！！

また、石巻に参ります。

(前橋地区 S・K さん)

安全審査なし！ゲノム編集トマト 日本初の市場流通へ

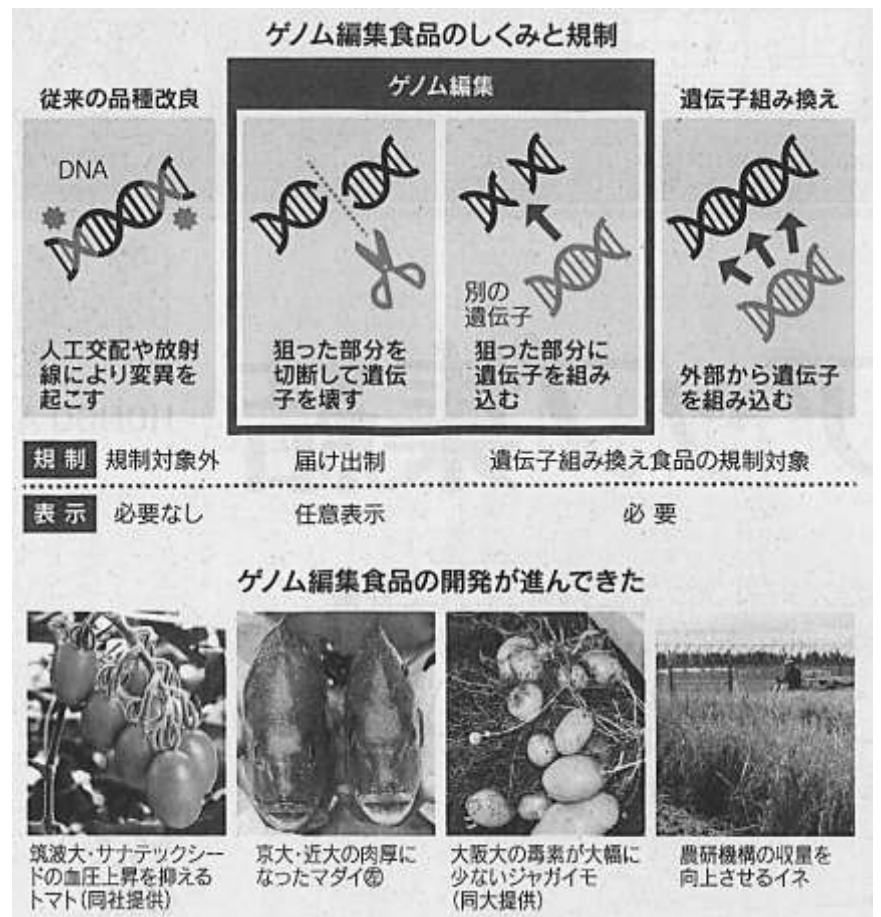
消費者の不安は解消されないまま 家庭菜園向け種苗を無料配布へ

～組合員さんからご意見が届いています～

昨年 12 月 11 日、ゲノム編集技術を用いて品種改良されたトマトが、筑波大発ベンチャー企業により開発され、厚生省に受理されたというニュースを見ました。今後インターネットで希望者を募り、トマトの苗を無償配布、また生産者へも種子販売を始める計画とのこと。

「ミニトマトより一回り大きい実を毎日 1、2 個食べるだけで、血圧抑制効果が期待できる」というのがうたい文句で、消費者のゲノム編集食品への理解を求め、遺伝子組み換え食品のような安全性審査も行われず食卓にのぼる日がそこまで来ています。よつ葉さんでも取り上げていただきたい問題です。

(つくば地区 A・I さん)



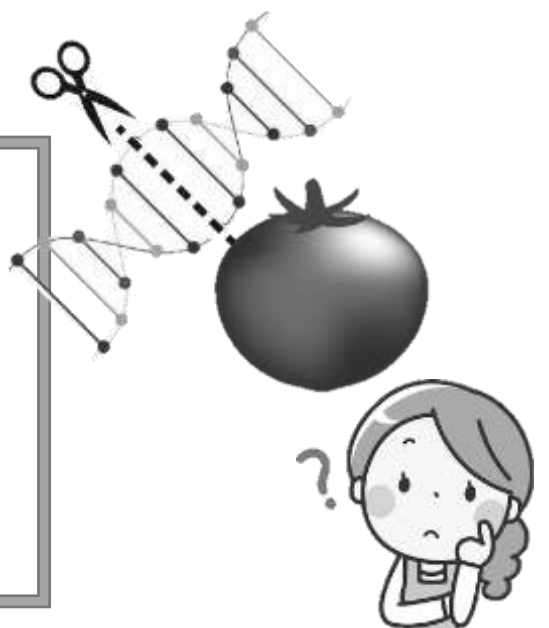
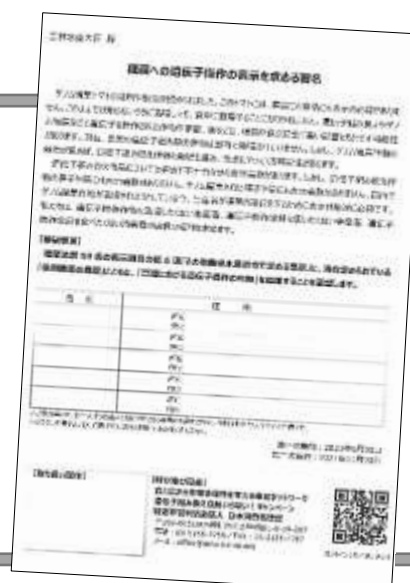
(2020 年 12 月 25 日日本経済新聞より)

遺伝子を壊すゲノム編集では、狙った場所以外で遺伝子の変化が起きる「オフターゲット」という現象が起こる可能性があります。オフターゲットによる想定外の遺伝子変化や新たなアレルギー物質の発現などの危険性もあります。「食べたくない」「作りたくない」「販売したくない」と思っても、今のままでは表示義務のないゲノム編集食品を避けるにも避けられないのです。ゲノム編集食品を選びたくなくとも、私たちが口にする日が間近となっています。

現在日本では、アレルギーを起こさない卵（アレルギーを起こす物質を作る遺伝子を破壊して作製）、毒素が大幅に少ないジャガイモ、収穫量の多いイネなどが実用段階にあります。消費者が選べるような表示の仕組みや情報の開示を、粘り強く求めていかなければならないと考えています。

(理事 三輪)

よつ葉生協では、ゲノム編集作物の栽培が始まることへの危惧と、食品を選ぶ市民の権利を求めるため、4月から「種苗への遺伝子操作の表示を求める署名」活動に取り組みます。「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」や日本消費者連盟、生協ネットワーク 21 との合同実施です。多くの方に関心を持っていただく機会にしていきます。





活動報告 2021年1月



こどもの部屋 たんぽぽ

調理体験

「自立への生活習慣の基礎作り」の一環にて、冬休み期間中に、スタッフと一緒に初めて料理の体験をしました。

2021年1月4日

6年生児童



※白菜を使ったロールキャベツに挑戦！！

巻き方に苦労していたが、とても手際が良い！

初めてのことは思えない出来栄に、スタッフも感激しました。

★あしがき★

この体験の後、母親に「一緒に料理つくろう」と、家でもロールキャベツにチャレンジした。

と本人が言った。

またまた、涙涙・・・

2021年1月7日



後日、もう一人も仲間に入り、協力しながらの初体験

2人で
みんなの分を
仲良く
盛り付け

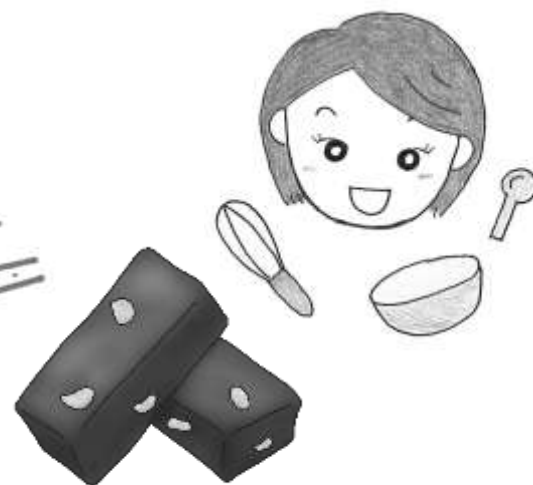
暮れにいただいたお米がご飯となりました。

ふみさんの

日々のかんたん！おやつ作り！！

寒い日のおやつに
あったかいドリンクと
一足着にどうぞ！

チョコレートブラウニー



<材料> 18cm×18cmの角型1台分

チョコレート 75g →きざめておく

なたね油 60g

豆乳 120g

さとう 120g

薄力粉 110g

ココアパウダー 15g

ベーキングパウダー 小さい 1/2

お好みでナッツ 適量

<作り方>

1. きざんだチョコレートをボウルに入れ湯せんにかけて溶かす
2. 別のボウルに①を入れ泡立て器でよく混ぜる
3. 2のボウルに1のチョコレートを加えてさらによく混ぜる
4. ②をふるいながら3のボウルに加えて、粉がほぼなくなるまでへうでよく混ぜる
5. 型に生地を流し入れ、お好みでナッツを飾らす
6. 180℃に予熱したオーブンで20～25分焼く
(竹串をさして生地がうっすらと白く)



焼き上がりはふんわり食感。冷やると生地がぱんぱんした濃厚な味に。特別な日にはクリームをのせて食すとよ



産直委員会発

～メキシコ産有機栽培バナナ 再開のお知らせ～
産地で雨期になり品質が安定しないため、1月から休止を
していましたが、4月に再開します。

メキシコ産有機栽培バナナってどんなバナナ？

2020年9月3週から取り扱いを開始しました。

- ① 有機栽培で安心！
- ② バナナに適した園地で栽培されています。
- ③ お得な価格（中間マージンがない、第三国を経由しないため経費や関税が抑えられる）

往来から取り扱っているペルー産の有機バナナは、一つが比較的大ぶりですが、このメキシコ産有機バナナはちよっと小ぶりです。

「大ぶりだと食べきれない！」という方には食べやすいです。

くから4月1週 **102** でご案内します。

ネオニコチノイド系農薬不使用アップルファーム
さみずのりんごオーナーへ

多くの申込みをありがとうございました。
募集の締め切りは、
4月2日（金）です。

【環境委員会発】ヘチマを育ててみませんか？

昨年の自粛中に育てた、ヘチマの種ができました。
（よつ葉だより 609号、616号、632号のヘチマ通信に
掲載）欲しい方に差し上げます。
グリーンカーテン・料理・化粧水・タワシ等できますよ。

※ 種を希望される方は、【共通申込書】に記入して、配送員へ渡してください。

種をお送りするときには、簡単な説明をお付けします。

※ 4月9日（金）まで受け付けます。
次回のへちま通信は、「ヘチマタワシの作り方」です。
お楽しみに。



共通申込書

☐ 環境委員会「ヘチマの種希望」

会員コード 氏 名

住 所

電話番号 ☎



～4月1週から、旨甘米豚（^{うまかんべー}デリーフーズ）取り扱いはじまりました！～

お米を混ぜたエサで育てられ、旨くて甘い、旨甘米（うまかんべー）豚。

真岡市の養豚農場「YS. ポークブレン」

の坂本さんが育てている、地域

特化型ブランド豚です。やわ

らかく、その名の通り口に

甘みが広がります。

家族経営で、生産者がはっ

きりしている産直豚です。

ぜひ、ご賞味ください！

詳しくは、4月1週くら

13 ページをご覧ください。



デリーフーズの阿部さんと坂本さんファミリー

～よつ葉乳業の「よつ葉生乳 100%ブレン
ヨーグルト 400g」の容器が、4月1週から
土に還るバイオマス容器に変更になります～

（産直委員会担当理事 針谷）



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、
共同購入注文書またはお手紙をお願いします。掲載の方には粗品をプレ
ゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはあり
ませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告（3月2週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています（単位：円）

栃木コロナ支えあい基金（860番）	6,500
群馬コロナウイルス対策募金（861番）	3,800
茨城誰かのために募金（862番）	1,600
合 計	11,900

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（3月2週分）

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

放射能から子どもを守る募金（900番）	9,700
震災孤児を支援する募金（910番）	25,400
「有機農業と国産種子」募金（920番）	10,300
合 計	45,400

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



よつ葉生協
ホームページ



よつ葉生協
Facebook

